

記 者 発 表 (資 料 配 布)				
月 日 (曜日)	担当課名	T E L	発 表 者 名 (担当係長名)	その他の 配布先
3 月 24 日 (木) 15:00	関西広域連合広域防災局 広域企画課 (兵庫県企画県民部防災企画 局防災計画課広域企画室)	078-362-9818 内線：3131	課長 石田勝則 (課長補佐小堀一幸)	関西広域連合 構成府県

**平成 23 年東北地方太平洋沖地震における関西広域連合構成府県の
被災地支援にかかる各府県の記者発表資料について**
(対象：3/23 日 0:00 から 24:00)

標記のことについて、別添のとおりお知らせします。

なお、構成府県により記者発表の方法が異なっており、滋賀県、大阪府、和歌山県については、これまでの支援状況の累積分も含まれていることを申し添えます。

【関西広域連合（兵庫県）】

○ 東北地方太平洋沖地震の被災者に対する兵庫県営住宅の提供等の状況（3/23現在）について

平成 23 年 3 月 23 日 17 時 30 分現在の標記の状況は、下記のとおりです。

記

1 提供する県営住宅：600戸（うち、すぐ入居可能な住戸100戸）

2 提供等の状況

日付	受付件数	入居決定戸数		入居辞退 戸数	提供可能 戸数
			鍵渡し 戸数		
3/17	82	－	(－)	－	600
3/18	62	24	(2)	0	576
3/19～21	19	0	(0)	0	576
3/22	20	15	(11)	5	566
3/23	6	4	(3)	3	565
合計	189	43	(16)	8	565

○ 「防寒着仕分けボランティア」による仕分け作業の実施および防寒着の搬送（第2便、第3便）について

今回の東北地方太平洋沖地震への支援のため、募集しました「防寒着仕分けボランティア」による防寒着の仕分け作業を、下記のとおり実施します。

あわせて、仕分けを終えた防寒着の搬送（第2便、第3便）についても、下記のとおり実施します。

記

1 「防寒着仕分けボランティア」による仕分け作業の実施

(1) 日時

3月24日（木）～3月26日（土）の3日間において、毎日10時～15時の間で仕分け作業を行う予定です。

(2) 場所

兵庫県立三木総合防災公園内 ブルボンビーンズドーム（三木市志染町三津田1708）

(3) 参加者数

2 防寒着の搬送（第2便、第3便）について

第2便 3月25日（金）14：00出発、3月26日（土）13：00到着
予定

第3便 3月26日(土) 14:00出発、3月27日(日) 13:00到着
予定

※搬送先はともに、気仙沼地方青果市場（宮城県気仙沼市四反田94-1）

第2便、第3便ともに、防寒着（新品のコート、ジャンパー等）を、段ボール箱
約1100箱（約10,000着）を予定

※今回の搬送（第2便、第3便）の合計で、約2200箱（約20,000着）

第2便、第3便ともに、兵庫県トラック協会の協力により、13tトラック（2台）で搬送します。

○ 東北地方太平洋沖地震に係る被災地からの避難者受入状況（3/23 現在）について

標記については、現段階で把握しているのは、少なくとも69世帯251名ですのでお知らせします。

記

被災地から兵庫県内への避難者受入状況

（3月23日17時30分現在）

市町等名	受入場所	被災地住民の避難者数	
		世帯数	人数
兵庫県	兵庫県営住宅	16 世帯	70 名
神戸市	市営住宅	36 世帯	130 名
明石市	市営住宅	1 世帯	2 名
西宮市	市営住宅	7 世帯	18 名
宝塚市	市営住宅	2 世帯	5 名
高砂市	市営住宅	1 世帯	5 名
三田市	市営住宅	4 世帯	12 名
丹波市	市営住宅	2 世帯	9 名
合 計		69 世帯	251 名

【関西広域連合（滋賀県）】

○ 東北地方太平洋沖地震への対応について（第 16 報）

3 月 23 日 17 時 00 分現在

このことについて、現在の情報を提供します。

1 県の対応

11 日 14 : 46 ～ 現在 警戒 2 号体制

16 日 滋賀県東北地方太平洋沖地震災害支援本部設置

2 被災地への派遣

(1) 緊急消防援助隊

11 日 16 : 00 緊急消防援助隊代表消防機関（大津市消防局）に後方支援本部※を設置。

※ 後方支援本部では、県内各消防機関との連絡調整や出動部隊の活動支援を行う。

18 : 28 消防庁から出動指示受信

21 日 10 : 25 消防庁から隊数縮小指示受信

(ア) 地上部隊

☐ 本日の活動概要

・ 出動なし。

(イ) 航空部隊

☐ 本日の活動概要

・ 福島県いわき市の上空偵察を実施。

・ 機内の仕様を救急仕様に変更するため滋賀県に帰投。15 時 57 分に日野基地に到着。

（これまでの活動経過、出動した部隊等は「※参考（1）緊急消防援助隊」を参照）

(2) DMAT（被災県からの依頼に基づき本県から派遣要請） [医務薬務課]

11 日 5 隊派遣要請

12 日 4 隊派遣要請

13 日 2 隊活動終了

14 日 7 隊活動終了（現地での活動終了）

（※ DMAT：災害派遣医療チーム）

（医療機関別の派遣要請、活動場所、活動終了は「※参考（2）DMAT」を参照）

(3) 企業庁給水車の派遣

[企業庁]

14 日 15 時 20 分、被災地へ向けて、2 t 給水車 1 台（人員 2 名）により南部水道事務所を出発。

15 日 14 時 30 分、岩手県盛岡市に到着。

16 日 午後より岩手県大船渡市で給水活動開始。

23 日 14 時 45 分、岩手県大船渡市内での給水活動を終了（現地での給水活動終了）。

（※ 県内からの応援給水派遣は計 7 台）

(4) し尿収集車両の派遣

[循環社会推進課]

20 日 10 時、被災地へ向け出発、支援先 宮城県大崎市。

滋賀県環境事業協同組合 作業員 31 名 し尿収集車両 15 台、作業車および支援車 5 台、滋賀県 3 名 支援車 1 台

22 日～23 日 大崎市の大崎広域東部衛生センターのし尿処理プラントに集められたし尿を山形県酒田市の酒田地区広域行政事務組合のし尿処理プラントに搬送（約 100 t / 日）

(5) 関西広域連合の動き（滋賀県）

14 日 16 時 20 分、「東北地方太平洋沖地震に係る支援物資等の提供に関する出発式」開催

[現地連絡所職員]

支援の内容	行き先	現地派遣職員
被災地における応援項目等の要望把握および情報収集	福島県	・ 現地連絡所職員 7 名

15 日 17 時 50 分、会津若松合同庁舎到着。

16 日 10 時 40 分頃、福島県庁へ出発。

16 日 13 時、福島県災害対策本部到着、現地連絡所設置。

18 日 9 時 40 分、第 2 次要員の 3 名が滋賀県庁を出発。

19 日 福島県現地連絡所 2 名、会津若松合同庁舎 1 名到着。

22 日 第 3 次要員の 2 名が滋賀県庁を出発。

23 日 福島県現地連絡所 1 名、会津若松合同庁舎 1 名到着。

23 日 第 4 次要員の 2 名が滋賀県庁を出発。

[避難所における被災者支援]

支援の内容	行き先	現地派遣職員
避難所における被災者支援	福島県	・ 職員 16 名

21 日 9 時 30 分、被災地へ向け出発。福島県内の避難所 派遣職員 16 名。

職員輸送バスで物資を一部搬送（防寒着、肌着、マスク等）

[保健師等]

[健康推進課]

支援の内容	行き先	現地派遣職員
被災地の救護所における、健康相談や心のケア、衛生面の支援等の活動	宮城県	・ 歯科医師（総括） 1 名 ・ 保健師 4 名 ・ 薬剤師 1 名 ・ 獣医師 1 名
	福島県	・ 医師（総括） 1 名 ・ 保健師 2 名 ・ 薬剤師 1 名

16 日 7 時 50 分頃、新潟市出発。

16 日 14 時頃、仙台市到着、引継後活動開始。

17 日 8 時 30 分から仙台市宮城野区保健福祉センターにて支援開始。

- 18 日 8 時 30 分から仙台市宮城野区保健福祉センターにて支援開始（鶴巻小学校避難所を担当）。
- 19 日 仙台市宮城野区保健福祉センターにて支援継続（高砂小学校・鶴巻小学校避難所を担当）。
- 20 日 仙台市宮城野区保健福祉センターにて支援継続（午前、鶴巻小学校避難所を担当）。
- 13 時頃、交代要員の 3 名が高砂小学校に到着、引き継ぎ。
- 16 時から仙台市宮城野区保健福祉センターにて、報告会に参加。
- 21 日 8 時 30 分から仙台市宮城野区保健福祉センターにて支援継続（午前、鶴巻小学校避難所、午後、高砂小学校を担当）。
- 9 時 福島県に向け出発。
- 22 日 8 時 30 分から仙台市宮城野区保健福祉センターにて支援継続（午前 高砂小学校避難所、午後 鶴巻小学校を担当）。
- 12 時 福島県小野町に到着。町民体育館で支援を開始。
- 23 日 8 時 30 分から仙台市宮城野区保健福祉センターにて支援継続（午前 高砂小学校避難所、鶴巻小学校避難所、午後 高砂小学校を担当）。福島県小野町町民体育館避難所で支援継続。

[医療救護班]

[医務薬務課]

支援の内容	行き先	現地派遣職員
被災地の救護所における、医療救護活動	福島県	・ 医師 2 名 ・ 薬剤師 1 名 ・ 看護師 2 名 ・ 事務職 1 名 ・ 現地連絡職員 2 名

- 17 日 9 時 30 分 滋賀県立成人病センターが現地に向け出発

〔実施場所〕 会津若松市内および周辺市町

- 18 日 県立会津学鳳高校避難所にて支援活動開始（滋賀県立成人病センター）。
- 19 日 現地連絡職員 2 名派遣（県事務職員 1 名、県薬剤師 1 名）。

〔派遣先〕 福島県会津若松市

- ・ 医療救護班の活動に対する支援および連絡調整

- 19 日 8 時 00 分から福島県西会津町および会津坂下町内の各避難所にて支援を開始（滋賀県立成人病センター）。
- 20 日 9 時 00 分 済生会滋賀県病院が現地に向け出発。
- 20 日 9 時 45 分から福島県会津坂下町内の各避難所にて支援を開始（滋賀県立成人病センター）。
- 21 日 9 時 30 分から福島県会津坂下町内の各避難所にて支援を開始（済生会滋賀県病院）。
- 22 日 9 時 30 分から福島県会津若松市内の各避難所にて支援を開始（済生会滋賀県病院）。
- 23 日 9 時 40 分から福島県会津坂下町内および福島県会津若松市内の各避難所にて支援を開始（済生会滋賀県病院）。

[薬剤師ボランティア]

薬剤師ボランティアの第1次支援隊を派遣（滋賀県薬剤師会）

3月19日～23日 4名（薬剤師）

派遣先 福島県薬剤師会

[災害支援ナース]

滋賀県看護協会に登録している災害支援ナースを派遣（予定）（滋賀県看護協会）

3月24日～27日 2名（看護師）

3月29日～4月1日 4名（看護師）

派遣先 宮城県看護協会を拠点に宮城県内の医療施設、避難所等で活動

[物資の提供]

[健康福祉政策課]

出発	行き先	支援の内容	協力団体
3月14日(月)	福島県	・毛布 6,700枚 ・乾パン 37,888食 ・アルファ化米 7,800食 ・サバイバルフーズ 5,400食	滋賀県トラック協会
3月19日(土)	福島県	・毛布 2,600枚 ・乾パン 18,304食 ・アルファ化米 3,300食 ・サバイバルフーズ 2,280食 ・医薬品内服薬 64品目 約22,000個 (降圧薬、抗菌薬、睡眠薬など) ・注射薬 6品目 100本 (鎮痛剤、抗不安薬など) ・衛生器材 53品目 (血圧計、体温計など)	滋賀県トラック協会

3 災害支援ボランティアの問い合わせ

[健康福祉政策課]

- ☐ 現在、救助作業が優先されており、ボランティアの受付は行っておりません。

今後、救助作業が落ち着いた後に、滋賀県社会福祉協議会を窓口として協力をお願いしたいと考えています。

- ☐ 問い合わせ先 滋賀県社会福祉協議会 TEL ; 077-567-3921, 3924

4 義援金の受付

[健康福祉政策課]

- ☐ 日本赤十字社および中央共同募金会において、下記の口座が開設されています。

なお、下記銀行窓口での振り込みの場合、手数料はかかりません。

■日本赤十字社

郵便局・ゆうちょ銀行 口座記号番号 00140-8-507

口座名義 日本赤十字社 東北関東大震災義援金

取扱期間 平成23年3月14日(月)～平成23年9月30日(金)

■中央共同募金会

- ① りそな銀行 東京公務部 普通預金 0036576
口座名義 社会福祉法人中央共同募金会
- ② 三井住友銀行 東京公務部 普通預金 0155400
口座名義 社会福祉法人中央共同募金会 災害口
- ③ 三菱東京UFJ銀行 本店 普通預金 0031265
口座名義 社会福祉法人中央共同募金会
- ④ 郵便局・ゆうちょ銀行 口座記号番号 00170-6-518
口座名義 中央共同募金会 東北関東大震災義援金

□ 問い合わせ先

- ・日本赤十字社滋賀県支部 TEL ; 077-522-6758
- ・滋賀県共同募金会 TEL ; 077-522-4304

5 援助物資の受付 [防災危機管理局]

- 県では混乱を避けるため、個人からの援助物資の受付は行っていません。市町および民間団体からの被災地への救援物資については、自衛隊により物資を搬送することになりました。救援物資を提供いただける市町および民間団体は、県庁防災危機管理局へお問い合わせください。なお、県庁では、お問い合わせいただいた内容について、自衛隊大津駐屯地と調整し、駐屯地への搬入日時を連絡します。
(問い合わせ先：防災危機管理局 TEL ; 077-528-3445)

6 災害避難者への対応について [健康福祉政策課]

- 地震により避難されてきた方へ対応するため、下記の専用窓口を設けました。

■ 健康福祉政策課 福祉企画・UD担当

電話番号：077-528-3519

対応時間：8:30～17:15（平日、休日とも）

設置期間：4月10日（日）まで

- 3月18日、岩手県、宮城県および福島県に対し、各300万円の見舞金を贈呈することを決定した。

※ 参 考

(1) 緊急消防援助隊

- これまでの経緯（概要）

(ア) 地上部隊

3月12日	・ 緊急消防援助隊滋賀県隊 地上部隊 36 隊（142 名）が福島県郡山市の活動拠点（郡山カルチャーパーク）に到着。 ・ 福島県二本松市で救急搬送を実施。
3月13日	・ 福島県相馬郡新地町で救助活動を実施。5体の遺体を発見し収容。 ・ 第2次隊が福島県に向けて、16時45分に賤ヶ岳SAを出発。

3月14日	- 第2次隊（36 隊 136 名）は福島県相馬郡新地町で活動を予定するも、津波のおそれから退避。 - 第1次引揚隊（118 名）は、賤ヶ岳 SA に到着。19 時 45 分に解散。
3月15日	活動拠点が変更（郡山カルチャーパーク→福島県消防学校）
3月16日	- 第2次隊は、福島県南相馬市で救助活動を実施。 - 第3次隊が福島県に向けて、16 時 15 分に伊吹 PA を出発。
3月17日	- 第3次隊（37 隊 129 名）のうち、23 隊（95 名）が福島県南相馬市で捜索活動を実施。 - 第3次隊のうち、救急隊 5 隊が福島県二本松市で救急搬送を実施。 - 第2次引揚隊は福島県消防学校で現地解散。
3月18日	- 第3次隊のうち、20 隊（86 名）が福島県相馬市で救助捜索活動を実施。 - 第3次隊のうち、救急隊 8 隊（24 名）が南相馬市の医療機関から会松若松市の医療機関へ患者を転院搬送。
3月19日	- 第3次隊のうち、20 隊（86 名）が福島県相馬市で救助捜索活動を実施。 - 第3次隊のうち、救急隊 8 隊（24 名）が伊達郡川俣町の高校から、新潟県消防学校へ歩行困難者を搬送。 - 第4次隊が、16 時 30 分に賤ヶ岳 SA を出発。
3月20日	- 交代した第4次隊（37 隊 121 名）のうち、消火隊 3 隊が福島市の医療機関へ防災ヘリの支援を実施。 - 同救急隊 1 隊が福島市の医療機関から新潟県消防学校へ救急搬送。 - 第3次引揚隊（129 名）が賤ヶ岳 SA で 18 時 15 分に解散。
3月21日	- 救急隊 9 隊が、福島県南相馬市の患者（9 名）を福島県と群馬県の医療機関へ救急搬送。 - 隊数縮小による該当部隊が、14 時 00 分に福島県消防学校を出発。
3月22日	- 救急隊 5 隊が、福島県南相馬市の患者（5 名）を福島南消防署信夫分署まで救急搬送。 - 第5次隊が、18 時 00 分に賤ヶ岳 SA を出発。

(イ) 航空部隊

3月12日	- 緊急消防援助隊滋賀県隊 航空部隊 1 隊（6 名）が、福島県（福島空港）へ 09 時 09 分に到着。 - 福島県南相馬市で捜索活動および茨城県日立市で活動支援飛行を実施。
3月13日	福島県田村郡三春町で要救助者 3 名を救出し、三春町民体育館で要救助者を引き継ぎ、福島空港に戻る。

	宮城県亘理郡亘理町で要救助者 2 名を救出。
3 月 14 日	搜索支援および津波の海上警戒を実施。奈良県地上部隊を上空から避難誘導。
3 月 15 日	機体点検および隊員交代のため滋賀県に帰投。14 時 55 分に日野基地到着。
3 月 18 日	- 航空部隊 1 隊（5 名）が福島県へ向けて出発し、10 時 5 分に福島空港に到着。 - 福島県郡山市から東京都板橋区の医療機関へ救急搬送を実施。
3 月 19 日	航空部隊 1 隊（4 名）が福島県いわき市から茨城県守谷市へ患者（1 名）、医師の救急搬送を実施。守谷市から医療物資を積載、いわき市まで搬送。
3 月 20 日	福島県いわき市から茨城県稲敷郡阿見町の医療機関へ患者（1 名）および医師の救急搬送を実施。
3 月 21 日	天候不良により出動なし。
3 月 22 日	天候不良により出動なし。

□ 出動した消防本部および部隊

第 1 次隊（3 月 11 日から 14 日まで活動）

部隊種別	全隊数	大津	湖南	甲賀	東近江	愛知	彦根	湖北	高島	滋賀県
指揮支援隊										
都道府県指揮隊	2	1			1					
消火部隊	12	3	3	1	1	1	1	1	1	
救助部隊	5	1	1	1	1			1		
救急部隊	9	1	2	1	1	1	1	1	1	
後方支援隊	8	2	2		1		1	1	1	
航空部隊（ヘリ）	1									1
合計	37	8	8	3	5	2	3	4	3	1

第 2 次隊（3 月 14 日から 17 日まで活動）

部隊種別	全隊数	大津	湖南	甲賀	東近江	愛知	彦根	湖北	高島	滋賀県
指揮支援隊										
都道府県指揮隊	2	1			1					
消火部隊	12	3	3	1	1	1	1	1	1	
救助部隊	5	1	1	1	1			1		
救急部隊	9	1	2	1	1	1	1	1	1	
後方支援隊	8	2	2		1		1	1	1	
航空部隊（ヘリ）	1									1
合計	37	8	8	3	5	2	3	4	3	1

第3次隊（3月17日から20日まで活動）

部隊種別	全隊数	大津	湖南	甲賀	東近江	愛知	彦根	湖北	高島	滋賀県
指揮支援隊										
都道府県指揮隊	2	1			1					
消火部隊	12	3	3	1	1	1	1	1	1	
救助部隊	5	1	1	1	1			1		
救急部隊	9	1	2	1	1	1	1	1	1	
後方支援隊	9	2	2	1	1		1	1	1	
航空部隊（ヘリ）	1									1
合計	38	8	8	4	5	2	3	4	3	1

第4次隊（3月20日から活動）

部隊種別	全隊数	大津	湖南	甲賀	東近江	愛知	彦根	湖北	高島	滋賀県
指揮支援隊										
都道府県指揮隊	2	1			1					
消火部隊	12	3	3	1	1	1	1	1	1	
救助部隊	5	1	1	1	1			1		
救急部隊	9	1	2	1	1	1	1	1	1	
後方支援隊	9	2	2	1	1		1	1	1	
航空部隊（ヘリ）	1									1
合計	38	8	8	4	5	2	3	4	3	1

第5次隊（3月23日から活動）

部隊種別	全隊数	大津	湖南	甲賀	東近江	愛知	彦根	湖北	高島	滋賀県
指揮支援隊										
都道府県指揮隊	1	1								
消火部隊	2			1	1					
救助部隊	1	1								
救急部隊	9	1	2	1	1	1	1	1	1	
後方支援隊	4	1	1		1			1		
航空部隊（ヘリ）	1									1
合計	18	4	3	2	3	1	1	2	1	1

(2) DMA T（被災県からの依頼に基づき本県から派遣要請）

[医務薬務課]

要請日時		医療機関	活動場所
11日	18:40	近江八幡市立総合医療センター	1隊派遣要請（石巻赤十字病院）
	18:43	公立甲賀病院	1隊派遣要請（仙台医療センター拠点本部）
	19:04	大津赤十字病院①	1隊派遣要請（福島空港 SCU 本部）
	19:30	草津総合病院	1隊派遣要請（仙台医療センター拠点本部）

	19:43	済生会滋賀県病院	1 隊派遣要請	(仙台医療センター拠点本部)
12 日	03:33	大津赤十字病院②	1 隊派遣要請	(花巻空港 SCU 本部)
	06:30	彦根市立病院	1 隊派遣要請	(花巻空港 SCU 本部)
	09:20	大津市民病院	1 隊派遣要請	(花巻空港 SCU 本部)
	12:00	滋賀医科大学医学部附属病院	1 隊派遣要請	(花巻空港 SCU 本部)
13 日	12:15	済生会滋賀県病院	活動終了	
	18:00	公立甲賀病院	活動終了	
14 日	00:00	彦根市立病院	活動終了	
	09:00	近江八幡市立総合医療センター	活動終了	
	12:00	大津赤十字病院①	活動終了	
	15:30	草津総合病院	活動終了	
	18:00	大津赤十字病院②	活動終了	
	18:00	滋賀医科大学医学部附属病院	活動終了	
	21:30	大津市民病院	活動終了	(現地での活動終了)

(※ DMAT：災害派遣医療チーム SCU：広域医療搬送拠点)

○ 岩手県、宮城県および福島県へ見舞金を贈呈

滋賀県議会議員一同（全４７議員）は、この度の東北地方太平洋沖地震災害により大きな被害に見舞われた岩手県、宮城県、福島県に対しまして、本日、見舞金をお贈りいたしました。

- 1 見舞金対象団体 岩手県、宮城県、福島県の３県
- 2 災害見舞金額 １県あたり７０万円（合計２１０万円）
- 3 贈呈方法 本県東京事務所長から３県東京事務所長を訪問し、目録を手渡し。

○ 東北地方太平洋沖地震に伴う救援物資（一般用医薬品等）の寄附について

本日までに、県下の製薬企業からなる下記の団体を通じて、被災地への救援物資として一般用医薬品等の寄附をいただきました。

滋賀県では、寄附いただいた医薬品を順次、福島県内の避難所に向けて派遣される避難所派遣職員に託して被災地に届けることとしています。

1. 寄附団体名

(1) 社団法人滋賀県薬業協会（会 長 大原 大）

事務局：甲賀市甲賀町大原中 898-1 くすり学習館内 電話：0748-88-3105

(2) 滋賀県製薬工業協同組合（理事長 大橋 淳一）

事務局：甲賀市甲賀町大原中 898-1 くすり学習館内 電話：0748-88-3105

2. 寄附申出いただいた企業（23 日までの受付分のみ）

- ①伊丹製薬（高島市） 鼻炎カプセル、鼻炎液（小児用）、止瀉薬
- ②大昭製薬（甲賀市） マスク
- ③昭和化学工業（甲賀市） 胃腸薬
- ④日新製薬（甲賀市） 総合感冒薬、鎮咳去痰薬
- ⑤日新薬品工業（甲賀市） トローチ剤、マスク、薬用ハンドジェル
- ⑥日本製薬（甲賀市） 下剤、止瀉薬
- ⑦日野薬品工業（日野町） 総合感冒薬、鎮咳去痰薬、マスク
- ⑧滋賀県製薬（甲賀市） 総合感冒剤、うがい薬、鼻炎液、目薬、止瀉薬
- ⑨有川製薬（彦根市） 健胃薬、止瀉薬

3. 配送便

平成 23 年 3 月 24 日（木）9：30 県庁から福島県避難所支援に派遣される職員の送迎バスに搭載

（社）滋賀県薬業協会・滋賀県製薬工業協同組合 提供医薬品一覧（平成 23 年 3 月 23 日現在）

薬効分類	商品名	梱包単位	箱数	個数	提供メーカー
鼻炎薬	コールトップ鼻炎液 N（小児用）30ml	240 本	10 箱	2400 本	伊丹製薬
鼻炎薬	トピック鼻炎カプセル 12cap	500 箱	1 箱		日新薬品工業
鼻炎薬	新パーム鼻炎カプセル 36 c a p		9 箱		滋賀県製薬
総合感冒薬	ハイドルミン顆粒 10 包	280 個	4 箱	1120 個	日新製薬
総合感冒薬	ハイドルミン顆粒 18 包	200 個	5 箱	1000 個	日新製薬
総合感冒薬	カゼックス G45 錠	200 個	1 箱	200 個	日野薬品工業
総合感冒薬	コデジール I P 錠 30 錠	100 個	2 箱	200 個	日野薬品工業
総合感冒薬	スパーク糖衣 12 錠	100 個	5 箱		滋賀県製薬
総合感冒薬	新ベサエース E V36 c a p		5 箱		滋賀県製薬
漢方製剤（かぜ薬）	柴胡桂枝湯エキス顆粒 12 包		6 箱		滋賀県製薬
鎮咳去痰薬	コフハイドリン錠 36 錠	240 箱	5 箱	1200 個	日新製薬
鎮咳去痰薬	新コデジール S 錠 30 錠			100 個	日野薬品工業
鎮咳去痰薬	スパークのどクール 50 錠		4 箱	480 個	滋賀県製薬
解熱鎮痛薬	カイホー顆粒 G6 包	300 個	1 箱		

トローチ剤	トピックトローチ S 12 錠	260 箱	4 箱	1040 個	日新薬品工業
トローチ剤	レナンメディカルドロップ 024 粒	200 箱	6 箱	1200 個	日新薬品工業
うがい薬	リズミカルうがい薬 120ml	60 個	5 箱	300 個	滋賀県製薬
止瀉薬	新ビスノールカプセル 12cap			1000 個	伊丹製薬
止瀉薬	正露丸 150 粒			3680 本	日本製薬
止瀉薬	正露丸 120 粒		5 箱	150 本	滋賀県製薬
止瀉薬	有川神教丸 300 粒			50 個	有川製薬
下剤	センナ丸 600 粒	60 箱	5 箱	1680 本	日本製薬
健胃薬	赤玉神教丸 300 粒			300 個	有川製薬
胃腸薬	胃腸薬桂鯉丸（けいりがん）18 包入り			120 個	昭和化学工業
目薬	アイクイック A G 目薬 12ml	120 個	42 箱	5040 個	滋賀県製薬
	マスク 60 枚入り	36 箱	30 箱	1080 箱	大昭製薬
	マスク 60 枚入り			288 箱	日野薬品工業
	マスク 600 枚入り		2 箱		日新薬品工業
	薬用ハンドジェル	24 本	21 箱	504 本	日新薬品工業

○ 東北地方太平洋沖地震により被害を受けられた方の受入について

滋賀県では、東北地方太平洋沖地震により被害を受けられた方々を支援するため、受入体制を整えているところです。

このたび、「滋賀で過ごしませんか」としてチラシを作成し、福島県の避難所等において滋賀県に避難を希望される方を募ったところ、2 世帯 5 人の方から応募がありました。

そのうち 1 世帯 4 人については、3 月 22 日に滋賀農業公園ブルーメの丘（日野町）に受入し、1 世帯 1 人についても、本日、18:00 頃に日野町役場に到着され、その後、滋賀農業公園ブルーメの丘（日野町）に受入することとなりましたので、お知らせします。

福島県民の皆さまへ

『滋賀で過ごしませんか。』

このたびの東北地方太平洋沖地震におきまして、犠牲となられた方々に対し、心より哀悼の意を表するとともに、今なお安否が確認できない方々の一日も早い御無事が確認されますようお祈りします。

また、今なお、避難所での厳しい生活を余儀なくされている被災者の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

「皆さまによりよい環境でお過ごしいただき、少しでも安心を得ていただきたい。」との思いから、滋賀県では、当面、生活いただく場所をご用意しております。

滋賀県は、福島県から少し離れておりますが、歴史的にみると、近江商人／蒲生氏郷との繋がりなど縁の深いところです。

避難されている皆さまの受入体制を整えて心からお待ちしておりますので、どうぞお越しください。

まずは「滋賀」にお越しください。

県内の市町の公民館やコミュニティセンターには畳の部屋や台所があり、当面、ここでお過ごしいただきます。

引き続き滋賀での生活をご希望の方は、例えば、県営・市営住宅や民間の賃貸住宅などに入居していただけるよう支援体制を整えております。

被災された皆さまは、家屋や家財道具などすべて失われ、ご自分で遠くへは移動できないと思われますので、滋賀からバスでお迎えに行きます。

福島から遠く離れた滋賀で過ごす時も、今までどおり同じ集落単位や親戚、知人同士と一緒に過ごせるためにも、ある程度のまとまりを作っていただければ滋賀からバスを仕立てます。

お申し込み等

- ・ 希望される方は、下記の受付場所にご相談ください。
- ・ 受付場所において、「災害避難者の保護要請にかかる基本情報票」に必要な事項を記載してください。
- ・ 直ちに、受入先を調整し、集合時間などをお知らせします。

受付場所

関西広域連合現地連絡所

場 所：福島県会津若松合同庁舎（会津若松市）内

電 話：０９０－１５９９－２６７０

○ 東北地方太平洋沖地震等の被災者に提供していただける民間賃貸住宅を募集します！

滋賀県では、平成 23 年（2001 年）3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震により被害を受けられた方々を支援するため、「滋賀県民間賃貸住宅空き家情報緊急ネットワーク」を構築し、取り急ぎ、（社）滋賀県宅地建物取引業協会、（社）全日本不動産協会滋賀県本部および（財）日本賃貸住宅管理協会滋賀県支部へ空き家情報の提供や入居者負担の軽減等、特段の協力を要請したところです。

つきましては、上記 3 団体に所属されていない住宅の貸し主の方々に対して、同様に空き家情報の提供や入居者負担の軽減等、特段のご協力をお願いできる民間賃貸住宅を募集します。

□提出していただく調査表等

滋賀県ホームページに掲載しています。注意事項等を十分確認したうえで記載し、提出してください。

掲載場所：「東北地方太平洋沖地震に関する情報」－「県民のみなさまへ」－「東北地方太平洋沖地震等の被災者に提供していただける民間賃貸住宅を募集します。」

□提出方法

滋賀県土木交通部住宅課へメールか F A X で提出してください。

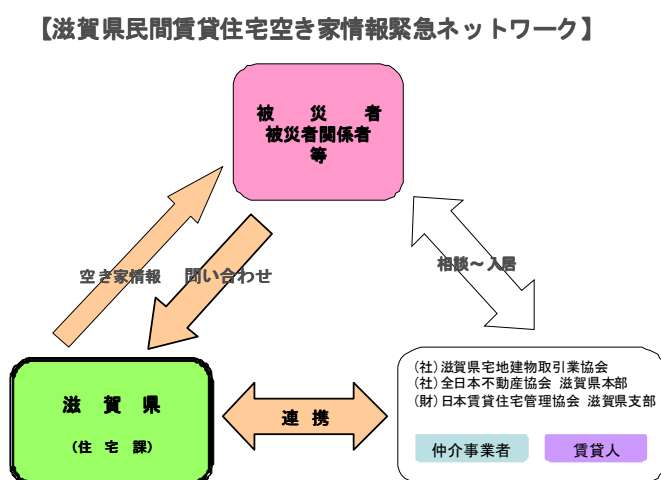
メール：hb00@pref.shiga.lg.jp

F A X：077-528-4911

□提出期限

一旦平成 23 年 3 月 25 日（金）としますが、随時更新する予定ですので、その後も該当する住宅がある場合は、提出してください。

なお、空き家が解消された場合等、情報に変更がある場合についても、随時連絡してください。



○ 救援物資の自衛隊による輸送について（その２）

２２日（火）資料提供しました、陸上自衛隊大津駐屯地へ搬入された救援物資は、下記のとおり航空自衛隊小牧基地への輸送が決まりましたのでお知らせします。

記

１ 輸送日時

３月２３日（水）１３：００ 大津駐屯地出発

２ 輸送先

航空自衛隊小牧基地（愛知県小牧市春日寺１丁目１）

○ 避難者の受け入れ状況

県における避難者の受け入れ状況（各日１７時現在）をお知らせします。

３月２３日現在の受け入れ可能施設は３,９８０人分です。

<一時避難施設の状況>

月日	受け入れ可能施設		相談件数	受け入れ状況	
	施設数	可能人数		世帯数	人数
３月１８日	68	1,307	16	11	47
３月１９日	96	1,453	53	6	19
３月２０日	110	1,509	29	7	24
３月２１日	112	1,559	12	7	23
３月２２日	202	2,138	106	3	7
３月２３日	286	3,980(＊)	45	4	14
合計			261	38	131

＊受入可能施設の内訳

県・市町関係施設（消防学校、勤労福祉会館、公民館ほか）：３,１１９人

国等関係施設（雇用促進住宅、国家公務員宿舎）：１４０人

民間施設（農協、滋賀農業公園宿泊施設ほか）：２２９人

個人からの申し出施設：４９２人

<避難者受入先状況>

月日	受入施設名	受け入れ状況	
		世帯数	受け入れ人数
3月16日	消防学校	1	4
3月17日	消防学校	3	14
	ピアザ淡海	1	2
3月18日	スポーツ会館	1	7
	豊郷町	3	12
	個人宅	2	9
3月19日	豊郷町	2	7
	多賀町	2	3
	個人宅	2	8
3月20日	彦根総合運動場	2	9
	野洲市	1	3
	多賀町	3	7
	日野町	1	2
3月21日	日野町	4	13
	多賀町	3	10
3月22日	日野町	2	6
	個人宅	1	1
3月23日	日野町	1	1
	多賀町	1	5
	竜王町	1	2
	愛荘町	1	6
合計		38	131

* 上記以外にも、親戚や知人等で受け入れを行っている事例があります。

<滋賀県ホームページ>

<http://www.pref.shiga.jp/hodo/news/20110319.html>

【関西広域連合（京都府）】

○ 東北地方太平洋沖地震への支援業務に係る職員派遣等（第2陣）について

東北地方太平洋沖地震に係る被災地支援については、避難所の支援業務等のため、平成23年3月21日（月）から京都府職員を福島県に派遣しているところですが、このたび下記のとおり第2陣を派遣しますので、お知らせします。

記

1 派遣先 福島県内の避難所等 3箇所程度（現地のニーズに応じて対応）

2 期 間 平成23年3月24日（木）～（出発日から5日間程度）

3 派遣者 ・支援業務従事要員：15名
・現地連絡要員：1名

※ 京都災害ボランティア支援センター職員1名が同乗

※ 出発予定 平成23年3月24日（木）9：30
大型バス1台で府庁2号館前を出発予定

○ 受入避難者の状況について

3月22日に福島県から京都府へ避難された8名の方の状況について、お知らせいたします。

記

1 受入避難者

3世帯8名（男性4名（うち子ども2名）、女性4名（うち子ども1名））

京都府職員福利厚生センター内（上京区）

3月22日、府職員が現地支援業務のため福島県に向かったバスを利用して来府

2 受入避難者の今後の予定

(1) 子ども連れ世帯（4名）

他県単身赴任中の夫が福島県内に戻ってくるまで（1ヶ月程度）、府内の公的施設に入居（その後福島県に戻る予定）

(2) 他の2世帯（4名）

奈良県の身寄りの方が県内公的住宅を確保

※3世帯とも本日（23日）に京都府職員福利厚生センターから退去

○ 東北地方太平洋沖地震等に係る「支援対策総合相談窓口」の状況

1 受入等状況

3月23日 13時00分 現在

	～3月22日	3月23日	計
相 談 件 数 （ 件 ）	330件	25件	355件

※京都市への相談件数は除く

府営住宅入居決定（人数・世帯）		47人	12世帯	15人	5世帯	62人	17世帯
府職員住宅入居決定（人数・世帯）		12人	3世帯	3人	1世帯	15人	4世帯
府 計（人数・世帯）		59人	15世帯	18人	6世帯	77人	21世帯
内 訳	福島県	55人	14世帯	13人	4世帯	68人	18世帯
	宮城県	4人	1世帯	5人	2世帯	9人	3世帯
	岩手県						
市町村計（人数）		172人		36人		208人	
内 訳	福島県	調 査 中		調 査 中			
府＋市町村計（人数）		231人		54人		285人	

2 民間住宅提供申出件数・戸数（電話受付）

地域区分						
区 分	件	戸・室	件	戸・室	件	戸・室
京 都 市 内	28	39	14	64	42	103
乙 訓 ・ 南 丹 地 域	12	12	3	3	15	15
山 城 地 域	11	11	8	8	19	19
中 丹 ・ 丹 後 地 域	9	9	1	1	10	10
計	60	71	26	76	86	147

3 避難者受入可能住宅数

機 関	住 宅 等
京 都 府	311
市 町 村	156
UR 都 市 機 構	170
国 家 公 務 員 宿 舎	24
合 計	661

【関西広域連合（大阪府）】

○ 「東北地方太平洋沖地震」にかかる府の支援状況等について

平成 23 年 3 月 23 日 14 時 00 分現在
大阪府災害等支援対策本部（大阪府危機管理室）

1 府庁の体制

11 日 15:00：大阪府災害等支援対策室設置（他府県で震度 6 弱以上の地震発生）

14 日 9:30：大阪府災害等支援対策本部設置（本部長：知事）

14 日 10:25：現地連絡員（府職員 5 名と和歌山県職員 1 名）、
八尾空港（大阪府警八尾基地）を現地（岩手県庁）に向け出発
17:00：岩手県庁に到着

14 日 17:00：関西広域連合岩手県現地連絡所（大阪府・和歌山県現地連絡所）設置

2 関西広域連合としての対応

13 日 16:00：関西広域連合委員会開催
（場所：兵庫県災害対策センター テーマ：被災地への支援等）
大阪府は和歌山県とともに岩手県を中心に支援

・現地連絡員

14 日～19 日 第 1 陣 6 名（大阪府職員 5 名、和歌山県職員 1 名）

18 日及び 19 日～ 第 2 陣 6 名（大阪府職員 4 名、和歌山県職員 2 名）

3 府庁の支援状況

(1) 給水支援【水道部】

応援車両：給水車 3 台、備蓄水搭載トラック 1 台、赤色灯付先導車 1 台

派遣職員：第 1 陣 11 名（3 月 12 日～16 日）

災害用備蓄水（500ml：4,000 本）、非常用飲料給水袋 4,000 枚
支援先：宮城県栗原市

（13 日 10:20 第 1 陣が現地到着、市内 3 箇所で給水活動実施）

第 2 陣 11 名（3 月 14 日～18 日）

（備蓄水搭載トラック 1 台、赤色灯付先導車 1 台、ワゴン車 1 台）
災害用備蓄水（500ml：約 3,000 本）、非常用飲料給水袋 7,000 枚
支援先：宮城県栗原市（15 日～16 日）、岩手県（17 日～18 日）

第 3 陣 11 名（3 月 17 日～22 日）

（赤色灯付先導車 1 台、ワゴン車 2 台）

支援先：岩手県 非常用飲料給水袋 1,000 枚

(2) 物資等支援【危機管理室】

・関西広域連合と連携を図り、支援物資を岩手県へ提供

13 日 アルファ化米 30,000 食、災害用備蓄水（約 500ml：約 10,000 本）

14 日 即席麺 20,000 食 毛布 3,000 枚 紙おむつ 10,000 枚

生理用品 20,000 枚 災害用備蓄水（約 500ml：約 24,000 本）

15 日 毛布 1,320 枚、災害用備蓄水（約 500ml：約 24,000 本）

- 毛布 10,000 枚（宮城県へ提供） 災害用備蓄水（約 500ml：約 10,000 本） 大人男性用下着（L：10 箱、LL：2 箱） 即席麺 約 15,000 食
- 17 日 納体袋 2,300 枚
- 18 日 マスク 50 万枚
- 19 日 マスク 22 万枚、紙おむつ 11,455 枚、毛布 699 枚、即席麺 2,166 食
災害用備蓄水（約 500ml：約 20,000 本）、生理用品 9,900 枚、カイロ 12,000 個、消毒液 250 本
- 20 日 災害用備蓄水（約 500ml：約 54,000 本）
- 21 日 災害用備蓄水（約 500ml：約 24,000 本）
- 22 日 災害用備蓄水（約 500ml：約 16,000 本） ポンプ 1,080 個、
ポリタンク 1,000 個
- 23 日 災害用備蓄水（約 500ml：約 13,000 本）
- ・府・市町村連携による救援物資搬送

19 日 11:45 北部広域防災拠点から物資（食料、毛布、紙おむつ、生理用品、飲料水など、トラック 5 台 搬送
大阪府知事、市長会会長（池田市長）見送り
 - ・物資集積所担当要員の派遣

19 日 6:30 岩手県に府警察ヘリで都市整備部職員 6 名派遣
20 日 21:00 岩手県に公用車（運転手 2 名）で都市整備部職員 6 名派遣
23 日 8:30 岩手県に飛行機で総務部と議会事務局の職員 6 名派遣
 - ・見舞金の贈呈

18 日 14:00 大阪府から宮城県、岩手県、福島県へそれぞれ 200 万円贈呈
また府職員幹部有志からも 200 万円の見舞金を贈呈

(3) 職員派遣及び被災者の受入れ【住宅まちづくり部】

- ・応急仮設住宅の建設応援のため建築職 3 名を岩手県に派遣（17 日出発、4 月末までで 2 週交代、のべ 9 名の予定）
- ・災害対策住宅（公営・民間）への入居斡旋に関する業務応援のため職員 3 名を岩手県に派遣（23 日出発、4 月末までで 2 週交代、のべ 9 名の予定）
- ・大阪府営住宅における被災者の受入れ

2 週間以内を目途に約 450 戸を提供（今後最大約 2,000 戸まで拡大予定）
入居決定戸数 23 戸（3 月 23 日 12 時現在）
- ・大阪府住宅供給公社賃貸住宅における被災者の受け入れ

2 週間以内を目途に約 25 戸を提供（今後 100 戸まで拡大予定）
- ・府営住宅及び府公社住宅に関する入居手続きの受付は、咲洲庁舎 26 階（住宅経営室）で行っております。

なお、電話での相談、お問い合わせは、

06（6210）9779（専用電話）

専用電話が混雑している場合は、

06（6941）0351（代表）内線 6307

受付時間：当面は、開庁日 9:00～18:00

なお、土・日・祝日のお問い合わせは、

「府民お問合せセンター」 #8001 または 06－6910－8001

(受付時間 9:00~18:00)

- ・大阪府域の市町営住宅における被災者の受け入れ
概ね2週間以内を目途に府内18市で115戸を提供
入居決定戸数1戸(3月22日17時現在)

※ただし、大阪市については、3月末までに約100戸提供予定(最大500戸)
又、堺市については、すぐに入居頂ける30戸提供(最大180戸)
入居決定戸数5戸(3月22日17時現在)

(4) 物資支援・職員等(医師・看護師・保健師・診療放射線技師等)派遣【健康医療部】

- ・抗インフルエンザウイルス薬(タミフル・リレンザ)の提供
23日:被災地において医療活動を行う府内医療機関に対して、府が備蓄している抗インフルエンザウイルス薬を無償提供
- ・避難住民の健康相談活動等の従事
15日:保健師等4名を派遣、16日保健師2名を派遣、18日保健師4名を交代派遣、21日保健師4名を交代派遣、宮城県仙台市宮城野区保健福祉センター及び避難所で活動中
19日:現地連絡員(健康医療部)1名を岩手県に派遣
- ・避難所において避難者の放射線被ばく量測定及び放射線に関する相談実施
19日:診療放射線技師2名、事務等担当2名を派遣、福島県及び宮城県避難場所
で活動中
21日:診療放射線技師2名、運転担当1名を追加派遣
23日:診療放射線技師2名、運転担当1名を交代派遣
こころのケアチーム(ケースワーカー1名、事務1名)を岩手県に派遣
- ・避難所等における医療活動に従事
24日:
 - ・府立病院機構(急性期総合医療センター)より、医療スタッフ(医師2名、看護師2名、薬剤師1名、理学療法士1名、事務1名)を岩手県に派遣(予定)
 - ・こころのケアチーム(医師1名、看護師2名)を岩手県に派遣(予定)
 - ・公衆衛生医師1名、保健師3名を岩手県に派遣(予定)

(5) 車両・運転手派遣【総務部】

マイクロバス3台によりDMAT要員を岩手県花巻空港まで送迎
(健康医療部職員2名同乗)
救援物資の受入出荷要員を岩手県まで送迎(20日から)

(6) 被災中小企業者への対応及び緊急雇用創出基金事業【商工労働部】

- ・特別相談窓口の開設
緊急経営支援インフォメーションセンター(大阪府商工労働部経営支援課)、府信用保証協会、府内商工会、商工会議所 他
- ・緊急雇用創出基金事業
被災者優先枠の実施
(例:国家資格 介護福祉士 10名程度 2年間 給与支給)

- ・ものづくり B 2 B ネットワークを活用した支援物資の調達【商工労働部】
(被災地からの要請に対応可能な企業を、大阪府と金融機関が連携して運営する「ものづくり B 2 B ネットワーク」を通じて探索・紹介)
- (7) 大阪府公立高等学校への受入れ【教育委員会】
 - ・公立高等学校後期入学者選抜
被災により学力検査等を受検できなかった受検者を対象として、中学校から提出された調査書を資料として合否判定
 - ・公立高等学校への転入学等
被災により大阪府内に転居することとなったため、在籍校へ通えない状況となった生徒、合格している高等学校への進学ができなくなった生徒の相談を受け付け対応
 - ・入学検定料及び入学料を免除
- (8) 地震被害への支援【政策企画部】
 - ・各部局が取り組む支援活動の関東地方の地域拠点として東京事務所を活用することを決定
- (9) 大阪府「被災者生活相談窓口」の設置について
東北地方太平洋沖地震の被災者の支援について、住居の提供だけでなく、様々な生活上の相談に応じるため、平成 23 年 3 月 22 日（火）から当面の間、次の 2 か所に、「被災者生活相談窓口」を設置
開設時間：9:00～18:00 の開庁時間
開設場所：(1) 咲洲庁舎 26 階住宅経営室内（TEL06(6210)9290）
(2) 大手前庁舎新分館建築振興課内（TEL06(6944)6690）
※なお、府営住宅の相談は、06(6210)9779（専用電話）で受付けています。
- (10) 一時避難の状況【危機管理室】
 - ・新別館南館：5 名
- (11) 府税の申告・納付等について【総務部】
東北地方太平洋沖地震の被災者に対する府税の申告・納付等の期限延長等について府ホームページに制度内容等を掲載。

4 大阪府関係の支援状況

- (1) 広域緊急援助隊（大阪府警）約 100 名が岩手県及び宮城県で活動中。
被災地支援部隊約 430 名が宮城県及び福島県で活動中。
- (2) 緊急消防援助隊（大阪府隊陸上部隊）
 - ・岩手県釜石市で 34 名が活動中。
 - ・福島第一原子力発電所での任務終了、現地引き上げ。（22 日 19:30）
- (3) D M A T（災害派遣医療チーム）20 隊が 12 日から 22 日まで茨城県、福島県、宮城県、岩手県で活動。
- (4) 大阪府ドクターヘリが 12 日から 14 日まで、福島県、山形県などで活動
- (5) 大阪府警航空隊ヘリ 1 機（5 名）、12 日から福島県で活動中
- (6) 伊丹空港 S C U（広域搬送拠点臨時医療施設）は 15 日撤収
- (7) 日本赤十字社大阪府支部
 - ・救助班 13 名が宮城県庁前に d E R U（仮設診療所）を展開し、診療中

- ・毛布 10,000 枚を、宮城県名取市役所（13 日 17:30～）及び岩沼市役所（13 日 20:00～）へ搬送
- ・毛布 9,200 枚を気仙沼市役所へ搬送（15 日 9:00～）
- ・緊急セット 4,608 組を陸前高田市、宮古市、山田町へ搬送（21 日）
- ・緊急セット 828 組を陸前高田市、山田町へ搬送（22 日）
- ・仙台市と巡回診療開始（13 日 13:00～）
 - ※診療実績 12 日：50 名、13 日：113 名、14 日：71 名、15 日：54 名、16 日：65 名、17 日：113 名、18 日 101 名（診療所 55 名、巡回 46 名）
 - 19 日：54 名（診療所 41 名、巡回 13 名）
 - 20 日：110 名（診療所 65 名、巡回 45 名）
 - 21 日：92 名（診療所 68 名、巡回 24 名）
 - 22 日：55 名（診療所 12 名、巡回 43 名）
- (8) 自衛隊による企業・団体からの物資輸送（17 日から受付開始）
 - ・大阪府における受付状況（19 日まで）約 130 社・団体
 - ・自衛隊から輸送済（18 日 6 社・団体：18 件）
 - 輸送先：茨城県、宮城県、岩手県、福島県
- (9) 岩手県内市町村への府・市町村職員の派遣（準備中）
 - ・岩手県大槌町等に対して府職員各 1 人、市町村職員各 10 人を約 1 か月間（1 週間交代 見込み）で派遣（予定）

5 府民の皆様へお知らせ

(1) 義援金

- ・日本赤十字社「東北関東大震災義援金」受付口座の開設
 金融機関 郵便局・ゆうちょ銀行 口座記号番号 00140-8-507
 口座加入者名 日本赤十字社 東北関東大震災義援金
 取扱期間 平成23年3月14日（月）～9月30日（金）
- ・問い合わせ先 日本赤十字社大阪府支部赤十字社員課 06-6943-0707
 ※郵便局窓口での取り扱いの場合、振替手数料は免除されます。
 ※郵便窓口で受け取った半券（受領証）は、大切に保管してください。
 ※通信欄に名前、住所、電話番号を記載してください。

(2) ボランティア

- ・ボランティア登録は現在調整中
 主な問い合わせ先 大阪府社会福祉協議会 06-6762-9631

(3) 医師・看護師等、医療従事者のボランティアの受付窓口開設

窓口：府民お問合せセンター 06-6910-8001 又は#8001
 申込方法：FAX 06-6910-8005
 詳細は、<http://www.pref.osaka.jp/iryo/tuuchi/sonotatuuchi.html>
 受付時間：10:00～18:00

対 象：(1) チームの場合：医師を含む看護師等の医療従事者（※）及び事務職
 ※薬剤師、保健師、ケースワーカーなど
 (2) 個人の場合：医師又は看護師

その他：無償参加、現地等への移動手段・寝食は各自で確保、保険料は個人負担

でお願いいたします。

(4) 自衛隊による輸送スキームの受付窓口開設

窓口：大阪府災害等支援対策本部支援情報班 06-6944-4893

受付時間：9:00～18:00

受け入れ対象：地方公共団体・企業（原則個人は除く。）

(5) 府内における環境放射能測定値

【放射線モニタリング】

福島県における原子力発電所事故後も府内における空間放射線量率は通常の値で推移しており、異常な値は計測されていません。

・平成23年3月22日午後9時時点 0.042 μ Sv/h（マイクロシーベルト毎時）

・平成23年3月23日午前9時時点 0.042 μ Sv/h

（平成21年度測定値：0.04（最低値）～0.063（最高値）、0.043（平均値） μ Sv/h）

※本データは、1 μ Gy/h（マイクログレイ毎時）=1 μ Sv/h（マイクロシーベルト毎時）と換算して算出。（詳しくは、大阪府立公衆衛生研究所HP参照）

<http://www.iph.pref.osaka.jp/sei-kan/hsen.html>

【上水（蛇口水）、定時降下物のモニタリング】

現在のところ、上水（蛇口水）と定時降下物（雨、粉じん等）から、放射性物質（ヨウ素、セシウム）は検出されていません。

【関西広域連合（和歌山県）】

○ 平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震に対する支援状況等について（第 12 報）

3 月 23 日 17 : 20 現在

I 東北地方太平洋沖地震被災地支援体制について

1 県の体制

14 日 9 : 00 東北地方太平洋沖地震被災地支援対策本部設置（和歌山県）

17 : 00 関西広域連合岩手県現地連絡所（大阪府・和歌山県現地連絡所
設置

※連絡員内訳は、3 月 18 日から和歌山県職員 2 名、大阪府職員 4 名

2 市町村の体制及び主な支援状況等

23 日 15 時現在、13 市町が支援対策本部設置（詳細は別紙のとおり）

II 被災地への支援状況

1 救援部隊

(1) DMAT

3 月 12 日、厚生労働省から、DMAT 隊の派遣要請有り

県立医科大学附属病院、公立那賀病院、橋本市民病院に各 1 隊の派遣を要請

岩手県花巻市内で活動後、橋本市民病院は 14 日、県立医科大学附属病院と公立
那賀病院は 15 日帰着。

※問い合わせ先 福祉保健部医務課 073-441-2604

(2) 県防災ヘリコプター

・ 12 日（土）被災地において 28 名を救助、医師及び看護師計 2 名を搬送

・ 13 日（日）活動終了し南紀白浜空港帰還

・ 15 日（火）山形空港に 2 回目の出動。天候不良のため 17 日まで待機、18 日
帰還

(3) 緊急消防援助隊派遣・活動状況について

派遣状況については既報のとおり

・ 13 日（日）和歌山県隊 25 隊 106 人宮城県石巻市に到着

・ 14 日（月）和歌山市隊他 30 人 女川（おながわ）町方面で救助活動
田辺市隊他 60 人 石巻市方面で救助活動

・ 15 日（火）交代要員 101 人派遣

和歌山県隊の串本町消防本部救急隊が 96 時間ぶりに救出された
25 歳男性を救急搬送

宮城県女川（おながわ）町で、20 人の遺体発見

約 50 件の救急搬送を実施

・ 16 日（水）交代要員（第 2 次派遣隊）石巻市総合運動公園に到着

第 1 次派遣隊は石巻市を出発

和歌山県隊（第 2 次派遣隊）は、13 時から女川町で活動開始（救
急部隊除く。）し、11 人の遺体を発見。救急部隊は石巻市内

で約 30 件の救急搬送を実施

- ・ 17日（木）第1次派遣隊が和歌山県に到着
和歌山県隊（第2次派遣隊）は、石巻市で救助活動。約50件の救急搬送を実施
- ・ 18日（金）総務省消防庁から、交代要員の派遣を中止するよう指示があり、和歌山県隊（第3次派遣隊）の派遣を中止（活動用燃料搬送も中止）
和歌山県隊（第2次派遣隊）は石巻市及び女皮町で救助活動。約200件の救急搬送を実施、5人の遺体を発見
- ・ 19日（土）総務省消防庁から和歌山県隊は撤収するよう指示があり、13時に現地を出発。
- ・ 20日（日）10時10分に名神高速道路多賀サービスエリアで和歌山県隊の解散式を実施。
各部隊はそれぞれの消防本部へ帰還。

(4) 保健師等の派遣

- ・ 派遣期間 3月16日（水）～4月末の予定
- ・ 派遣人員 1班当たり保健師2人、医務課事務職員2人（事務職員については第1班以降の派遣未定）
- ・ 1班当たりの派遣期間 5泊6日 派遣は和歌山市と交替で実施
- ・ 派遣先等 岩手県立山田高等学校（岩手県下閉伊郡山田町）避難者約750人
- ・ 活動内容 保健師 被災者の健康相談、健康チェック、避難所の衛生対策
県・和歌山市事務職員 連絡調整、資機材運搬等
- 第1班 3月16日（水）～3月21日（月）保健師2人、医務課事務職員2人
- 第2班 3月19日（土）～3月25日（金）和歌山市保健師2人、和歌山市事務職員2人
3月19日（土）6時に保健所を出発
3月20日（日）12時に山田高等学校到着、午後から活動中

(5) 日赤和歌山支部医療救護班の派遣

- ・ 派遣 第1班 3月11日（金）～3月15日（火）
第2班 3月15日（火）～3月19日（土）
第3班 3月19日（土）～3月23日（水）
第4班 3月23日（水）～3月27日（日）
- ・ 派遣人員 第1班 10名派遣（医師1名、看護師4名、薬剤師1名、事務職員1名、その他3名）
第2班 13名派遣（医師1名、看護師4名、薬剤師1名、事務職員1名、その他6名）
第3班 11名派遣（医師1名、看護師4名、薬剤師1名、事務職員2名、その他3名）
第4班 11名派遣（医師1名、看護師4名、薬剤師1名、事務職員2名、その他3名）
- ・ 派遣先 岩手県山田町

(6) 南和歌山医療センター医療救護班の派遣

- ・ 派遣 3月16日（水）～3月20日（日）

- ・派遣人員 6名派遣（医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務職員2名）
※3月20日 午前中に後任医療救護班へ引継ぎ完了
 - ・派遣先 宮城県仙台市
- (7) 和歌山県立医科大学附属病院の医療救護班の派遣
- ・派遣
 - 第1班 3月19日（土）～3月23日（水）
 - ・3月19日15時に病院を出発
 - 第1班内訳 医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務職員2名 合計7名
 - ・3月20日9時15分に岩手県宮古保健所到着
 - 11時に岩手県山田町の豊間根（とよまね）中学校に到着し活動開始
 - ・3月23日22時 県立医科大学附属病院に帰還予定
 - 第2班 3月22日（火）～3月26日（土）
 - ・3月22日14時に病院を出発
 - 第2班内訳 医師2名、看護師2名、薬剤師2名、事務職員1名 合計7名
 - ・3月23日8時から、岩手県山田町の豊間根中学校で活動開始
- (8) 和歌山県立医科大学附属病院の医師の派遣
- ・派遣 3月20日（日）～3月26日（土）
 - ・派遣人員 医師1名
 - ・派遣先 福島県立医科大学

2 物資等の支援について

(1) 支援物資の提供

- ・14日（月）毛布6,500枚提供
（福島県いわき市草野中学校1,500枚、福島県田村市総合体育館5,000枚）
- ・15日（火）午前9時半までに福島県いわき市、田村市へ到着（10tトラック3台）
- ・16日（水）① 提供物資 米類（アルファ米など）30,000食（うち和歌山市提供3,000食）、水（和歌山市提供）0.50×1万本、毛布（民間からの提供）1,500枚、防寒用品（民間からの提供）防災マット300枚、防災クッション100枚、ボックスティッシュ3,180箱、乳児用おむつ（海南市提供）4,000枚、マスク（海南市提供）20,000枚、ブルーシート（3.6×5.4m）500枚（うち海南市提供200枚）
 - ② 搬送先 岩手県産業文化センター「アピオ」（岩手県滝沢村砂込389-20）
搬送は社団法人トラック協会
 - ③ 出発時刻 3月16日17時40分 海南市立総合体育館を出発
3月16日17時40分 海草振興局健康福祉部（海南保健所）を出発
いずれも、3月17日（木）16時38分 搬送先に到着

- ・ 18日（金）提供物資 調味梅干 150g 入りパック×5,000 パック提供あり
（和歌山県漬物組合連合会より）（発送3月21日）
 - ・ 18日（金）① 提供物資 飲料水 5,800 本、カップ麺 3,500 個、ウェットティッシュ 2,300 個、使い捨てカイロ 25,000 個
② 搬送先 岩手県産業文化センター「アピオ」（岩手県滝沢村砂込389-20）
搬送は社団法人トラック協会
③ 出発時刻 3月18日18時30分 和歌山競輪場を出発（8トン車1台）
3月19日11時50分、搬送先に到着
 - ・ 21日（月）県民・企業等からの支援物資の提供について（別添のとおり）
 - ・ 22日（火）3月21日に搬出した飲料水等の救援物資は、3月22日16時までに岩手県及び宮城県に到着
- ※問い合わせ先 福祉保健総務課（TEL：073-441-2472）

(2) 給水支援

- ・ 和歌山市 給水車（2 t）1台＋支援車1台 人員4名
- ・ 海南市 給水車（3 t）1台＋支援車1台 人員4名
以上市町、大船渡市で給水活動中
- ・ 橋本市 給水車（4 t）1台 人員2名 一時帰還中
- ・ 紀美野町 給水車（3 t）1台＋支援車1台 人員4名 一時帰還中
- ・ 新宮市が宮城県名取市で給水活動中 トラック＋2 tタンク積載を2台 人員6名
- ・ 新宮市が別途茨城県高萩市へ出発したが、活動を中止し帰還
給水車（4 t）1台＋支援車1台 人員5名
- ・ 田辺市が茨城県高萩市へ出発し、17日に新宮市と引き継ぎ予定していたが延期
- ・ 岩出市が岩手県盛岡市へ出発予定であったが、受け入れ体制が整うまで待機
給水車（3 t）1台＋支援車1台 人員4名
- ・ 紀の川市 宮城県登米市で給水活動中 トラック＋2 tタンク積載を1台
給水袋 2,000 袋 人員4名

※和歌山市、海南市、橋本市、岩出市、紀美野町は日本水道協会からの要請

※新宮市、田辺市、紀の川市は友好都市への支援

(3) 救援物資情報提供の受付

受付期間 3月15日（火）から当分の間

（土・日・祝日を除く午前9時から午後5時45分まで）

※問い合わせ先 福祉保健総務課 073-441-2472

(4) 県営住宅等の提供（3月23日現在）

- ・ 県営住宅102戸、市営住宅等117戸（内訳 和歌山市50、海南市1、橋本市3、御坊市1、田辺市12、新宮市15、紀美野町2、かつらぎ町9、九度山町5、高野町4、湯浅町2、日高川町2、白浜町2、上富田町1、すさみ町5、那智勝浦町1、串本町2）を無償（家賃、敷金、礼金は無償、共益費は有償）で提供、県全体では219戸
- ・ 入居状況
 - ・ 県営住宅（和歌山市内）に2世帯10名入居、

・和歌山市営住宅に3世帯12名入居

・田辺市営住宅に1世帯3名入居

※平成23年4月末までは土曜日、日曜日、祝日も受付対応 午前9時～午後5時45分

※申し込み、問い合わせ先 県土整備部都市住宅局建築住宅課 073-441-3210

(5) 棺の提供

- ・「きのくに葬祭事業協同組合」加盟の葬儀社（5社）から棺約50本を適宜提供
- ・「全国冠婚葬祭互助協会」加盟（5社）の県内の葬儀社から棺約250本を提供予定

※ 問い合わせ先 食品・生活衛生課 073-441-2620

(6) 放射線の影響に関する健康相談窓口等について

- ・福島原子力発電所周辺の避難・屋内避難圏内から和歌山県に避難して来られた方等、原子力発電所事故による健康への影響が心配な場合の相談窓口を設置

※ 相談窓口等、詳細は別紙のとおり（所管：健康福祉部 難病感染症対策課）

3 その他の支援

(1) 東北地方太平洋沖地震に係る災害義援金の口座開設

和歌山県が「東北地方太平洋沖地震災害義援金」を募集

3月23日15時現在 77,451,351円 引き続き8月31日まで受付を行う。

※問い合わせ先 福祉保健総務課 073-441-2472

(2) 東北地方太平洋沖地震被災地への災害義援金について

和歌山県議会では、全議員44名の負担により東北地方太平洋沖地震の被災者支援のため、義援金100万円を送ることを決定。

(3) 和歌山県医師等災害ボランティア受付窓口設置

- ・3月18日（金）ボランティアを行う意志のある医師等の医療従事者から申し込みを受け付ける窓口を設置

※問い合わせ先 和歌山県健康福祉部医務課

電話073-441-2603（土・日・祝を除く午前9時～午後5時45分まで）

FAX 073-424-0425（終日）

(4) 被災地域の児童生徒の和歌山県公立学校への受け入れについて

- ・東北地方太平洋沖地震に被災し、和歌山県内に転居される方で、公立学校への入学・転入学・編入学を希望される児童生徒について、和歌山県教育委員会の各担当窓口を設置

※ 問い合わせ先 和歌山県教育委員会学校指導課 073-441-3686

小・中学校 義務教育班 073-441-3705

特別支援学校 特別支援教育室 073-441-3683

高等学校 高等教育班 073-441-3662

※ 小・中学校の児童生徒で居住先が決まっている場合は、当該市町村の教育委員会に問い合わせ願います。

○ 和歌山県内各市町村の東日本大震災に関する支援状況

平成 23 年 3 月 23 日 15 時現在

和歌山県東北地方太平洋沖地震被災地支援対策本部

県総務部危機管理局

※ 下線部分が今回の変更箇所です。

市町村名	支援本部 設置状況	設置日	主な支援状況等
1 和歌山市	○	H23. 3. 14	・ 緊急消防援助隊 5 隊 2 0 名 3/12 (3/20帰還) ・ 給水支援 2 t 車 1 台 3/14出発 ・ 義援金の受付 3/14開始 ・ 救援物資提供 3/16 岩手県へ (食料、水他) ・ 保健師等の派遣 3/19岩手県へ ・ 医師、診療放射線技師等の派遣 3/19福島県へ
2 海南市	—	—	・ 義援金の受付 3/15開始 ・ 緊急消防援助隊 5 名 (3/20帰還) ・ 給水支援 3 t 車 1 台 ・ 救援物資提供 3/16岩手県へ (ブルーシート、マスク他) 3/18 アルファ米1,000食
3 橋本市	—	—	・ 義援金の受付 3/14開始 ・ 緊急消防援助隊 5 名 (3/20帰還) ・ 給水支援 4 t 車 1 台 ・ 物資提供 3/18 水1.5L×720本
4 有田市	—	—	・ 義援金の受付 3/15開始 ・ 緊急消防援助隊 5 名 (3/20帰還) ・ 物資提供 3/18 アルファ米 1,600食
5 御坊市	—	—	・ 義援金の受付 3/14開始 ・ 緊急消防援助隊 1 0 名 (3/20帰還) ・ 物資提供3/18 アルファ米 1,000食 カンパン 720缶
6 田辺市	○	H23. 3. 18	・ 義援金の受付 3/15開始 ・ 緊急消防援助隊 2 8 名 (第 1 ～ 2 陣) (3/20帰還) ・ 救援物資支援 茨城県笠間市 ブルーシート 3/12 岩手県一関市 毛布、飲料水他 3/13 クラッカー9,000食 3/18
7 新宮市	—	—	・ 緊急消防援助隊 5 名 (3/20帰還) ・ 給水支援 3 台 宮城県名取市 2 台 茨城県高萩市 1 台 ・ 物資提供 水、非常食、毛布
8 紀の川市	—	—	・ 義援金の受付 3/14開始 ・ 給水支援 2 t 車 1 台他 岩手県盛岡市へ3/18出発 ・ 3/18 救援物資支援 宮城県登米市へ おむつ、粉ミルク、懐中電灯他 ・ 3/22 福島県相馬市 救援物資 (食料) 支援
9 岩出市	—	—	・ 義援金の受付 3/15開始 ・ 備蓄品の供出 3/18 アルファ米 2,500食、 カンパン 3,000缶、 保存水 1,008本 (500ml)
10 紀美野町	○	H23. 3. 14	・ 義援金の受付 3/14開始 ・ 給水支援 3 t 車 1 台 3/15午後出発 ・ 緊急消防援助隊 4 名 3/12 (3/20帰還) ・ 備蓄品の供出 3/19 アルファ米 500食他
11 かつらぎ町	—	—	・ 義援金の受付 3/14開始
12 九度山町	○	H23. 3. 17	・ 義援金の受付 3/14開始 ・ 備蓄品の供出 アルファ米 800食 保存水 2 L 60本 ・ 救援物資 3/21発送 飲料水 2 L 12,480本
13 高野町	—	—	・ 義援金の受付 3/14開始 ・ 緊急消防援助隊 5 名 (3/20帰還)
14 湯浅町	○	H23. 3. 14	・ 義援金の受付 3/14開始 ・ 緊急消防援助隊 3 名 救急車 1 台 (3/20帰還) ・ 備蓄品の供出 アルファ米600食 救援物資 水 2 L 1200本
15 広川町	○	H23. 3. 14	・ 義援金の受付 3/15開始 ・ 町民へ救援物資受付の周知 (放送) ・ 3/18 町民からの救援物資受付 カイロ等 約 2 万個
16 有田川町	○	H23. 3. 14	・ 義援金の受付 3/14開始 ・ 緊急消防援助隊 1 0 名 (3/20帰還) ・ 救援物資 アルファ米 3,000食 水 2 L 1,134本

	市町村名	支援本部設置状況	設置日	主な支援状況等
17	美浜町	—	—	・義援金の受付 3/14開始 継続受付中 ・救援物資 3/17～18 第一次受付終了
18	日高町	—	—	・義援金の受付 3/15開始 ・衛星携帯電話の貸与 (日高広域消防、緊急消防援助隊) ・備蓄品の供出 カンパン 1,000個
19	由良町	検討中	—	・義援金の受付 3/14開始
20	印南町	○	H23. 3. 14	・義援金の受付 3/15開始
21	みなべ町	—	—	・義援金の受付 12箇所募金箱設置 ・救援物資 3/17 茨城県水戸市へ 全国梅サミット 災害応援協定による (紙おむつ、飲料水、梅干し他) ・3/17義援金の町専用口座開設 チラシ各戸配布(3/18) ・県の救援物資集積への協力 町役場駐車場にて収集 カップ麺、飲料水、カイロ等 約16,000個
22	日高川町	—	—	・義援金の受付 3/14開始
23	白浜町	○	H23. 3. 18	・義援金の受付 3/14開始 ・緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) ・町から物資支援 アルファ米200食、飲料水 720本等 ・白浜観光協会等の物資支援 飲料水100ケース
24	上富田町	○	H23. 3. 14	・義援金の受付 3/14開始 ・救援物資3/18出発岩手県宮古市へ(役場及び町民協力)
25	すさみ町	○	H23. 3. 15	・義援金の受付 3/15開始 ・緊急消防援助隊 (白浜消防装備拠出)
26	那智勝浦町	—	—	・義援金の受付 3/14開始 ・緊急消防援助隊 5名
27	太地町	○	H23. 3. 15	・義援金の受付 ・備蓄品の供出 (3,000食分)
28	古座川町	—	—	・義援金の受付 3/15開始 ・古座川町からの義援金 ・救援物資 白米2.7t 岩手県宮古市 ・備蓄品の供出 (アルファ米 500食)
29	北山村	—	—	・義援金の受付 準備中
30	串本町	○	H23. 3. 16	・義援金の受付 3/15開始 ・緊急消防援助隊 3名 (3/20帰還) ・救援物資 白米 17.5t (岩手県宮古市) ・備蓄品の供出 (岩手県宮古市) おむつ、粉ミルク他

○ 東北地方太平洋沖地震における被災地への支援物資の提供について

和歌山県では、3月17日から県民の皆様にご協力をお願いし、県下8箇所では救援物資を受け付けていましたが、ご提供いただいた救援物資を下記のとおり搬出します。

記

1 受付物資総数

	飲料水 (本)	カップ麺 (個)	ウェットティッシュ (個)	使い捨てカイロ (個)	合計
受付総数	121,994	38,575	28,087	263,465	452,121
搬出済数	5,800	3,500	2,300	25,000	36,600
現在保有数	116,194	35,075	25,787	238,465	415,521

2 搬出物資

飲料水	1 1 6, 1 9 4 本
カップ麺	3 5, 0 7 5 個
ウェットティッシュ	2 5, 7 8 7 個
使い捨てカイロ	2 3 8, 4 6 5 個

- ・今回の搬出に併せて、下記物資を提供します。

アルファ化米飯（市町村備蓄物資）	2 1, 4 8 0 食
乾パン（市町村備蓄物資）	1 4, 2 8 0 食
飲料水（市町村備蓄物資）	5, 2 7 2 本
調味梅干（民間からの提供）	5, 0 0 0 パック
線香（民間からの提供）	3 9 箱

3 搬送先

[カップ麺、ウェットティッシュ、使い捨てカイロ、調味梅干、線香]
岩手県産業文化センター「アピオ」（岩手県滝沢村砂込 3 8 9 - 2 0）

[飲料水、アルファ化米飯、乾パン]
石巻市総合運動場（宮城県石巻市南境字新小堤）

※本県から岩手県現地事務所へ派遣している連絡員から、現在、岩手県では水及びアルファ化米飯等については充足しているとの連絡があり、関西広域連合との調整で、飲料水121,466本、アルファ化米飯21,480食、乾パン14,280食を宮城県石巻市に搬送することになりました。

※搬送は社団法人和歌山県トラック協会

（予想を上回る物資が集まったため、トラックの配車がつき次第、順次搬送します。）

4 出発時刻

収集場所	出発時刻	搬送先及び台数
和歌山競輪場	3月21日 10:35、12:20	岩手県 (12tトラック4台、13tトラック2台)
海南保健所	3月21日 12:55、13:55	
那賀振興局	3月21日 12:00	
橋本保健所	3月21日 10:55	宮城県 (11tトラック1台、12tトラック4台、 13tトラック5台) 合計16台
有田振興局	3月21日 14:45	
御坊保健所	3月21日 15:30、16:30	
西牟婁振興局	3月21日 13:30、15:00	
東牟婁振興局	3月21日 13:30	

※搬送先までの所要時間 約20～24時間

5 今後の対応

現在、現地連絡事務所からの情報待ちであります。情報が入れば新しく要請のあった物資を提供していく予定です。

○ 放射線の影響に関する健康相談窓口等について

健康福祉部 難病・感染症対策課

和歌山県では県環境衛生研究センター（和歌山市）において、文部科学省の委託を受けて空気中の放射線量の測定を行っています。

● 県民の健康への影響について

- ・ 3月11日の震災発生以降、上記の測定値は平常値で推移しております。
県民の皆様の健康には影響はありませんので、冷静な対応をお願いします。

● 放射線の影響に関する健康相談窓口

- ・ 福島原子力発電所周辺の避難・屋内退避圏内から和歌山県に避難して来られた方等、原子力発電所事故による健康への影響が心配な場合は下記で電話相談を受け付けています。

※ 避難・屋内退避圏外から来られた方は心配ありません。

相談窓口	電話番号	開設日時
和歌山市保健所	073-433-2261	月～金（祝日を除く） 8：30～17：15
岩出保健所	0736-61-0020	月～金（祝日を除く） 9：00～17：45
橋本保健所	0736-42-3210	
海南保健所	073-482-0600	
湯浅保健所	0737-64-1291	
御坊保健所	0738-22-3481	
田辺保健所	0739-26-7931	
新宮保健所	0735-21-9630	
新宮保健所串本支所	0735-72-0525	
県庁難病・感染症対策課 （人の健康に関すること）	073-441-2643	
県庁食品・生活衛生課 （食品の安全に関すること）	073-441-2624	

【関西広域連合（徳島県）】

○ 「第2回徳島県被災地支援対策本部会議」の開催について

このことについて、次のとおり開催いたしますので、お知らせします。

記

1 日 時

平成23年3月24日（木） 午前10時40分から

2 場 所

県庁3階 特別会議室

3 出席者

- ・知事(主宰者) 飯泉 嘉門
- ・副知事 里見 光一郎
- ・政策監 武市 修一
- ・各部局長ほか 計22名出席予定

4 議 題

- (1) 各チームの取組状況について

※ 当対策本部に設置されている「被災者受入支援チーム」、「被災地応援派遣チーム」、「災害分析チーム」から、現在の取組状況について報告を行い情報共有等を図る。

○ 東北地方太平洋沖地震に関する徳島県の被災地支援の状況について

1 本日の主な動き

(1) 「徳島県被災地支援対策本部」の設置

- ・復旧・復興支援対策に万全を期すため、3チームにより集中的に支援策等を実施することを決定。

(2) 人的支援

- ・宮城県北部沿岸市町支援本部派遣職員（15名）
午後0時15分からの壮行式（知事出席）の後、宮城県に向け出発。
- ・広域緊急援助隊
 - 刑事部隊（10名）
宮城県石巻市にて検視用務に従事。
 - 交通部隊（10名）
仙台東部道路 仙台空港IC、名取ICにて緊急交通路の確保活動に従事。
- ・日本赤十字社徳島県支部（医療救護班）第4班（7名）
岩手県立山田高校で医療救護活動に従事。
- ・「被災地支援（医療・保健）チーム」【第3陣】

保健師チーム（６名）

仙台市若林区内避難所（大和小学校，遠見塚小学校，若林小学校）にて支援活動に従事。

医療救護チーム（６名）

石巻市立万石浦中学校にて支援活動に従事。

災害支援ナース（２名）

石巻市立稲井中学校にて支援活動に従事。

心のケアチーム（３名）

仙台市若林区内避難所（南小泉小学校，南小泉中学校）にて支援活動に従事。

(3) 物的支援

- ・宮城県への救援物資

県民から受け付けた救援物資（カップ麺，粉ミルク，紙おむつ 他）について、ボランティアの協力による仕分け・積み込み後，午後１時から出発式（知事出席）を行い，現地に向け出発。

- ・経済変動対策資金（東北地方太平洋沖地震対策枠）の創設

東北地方太平洋沖地震により事業活動に支障が生じている県内中小企業等に対し，資金繰りの円滑化を支援。

（取扱期間等）平成２３年３月２５日（金）～平成２４年３月３０日（金）

※平成２３年３月２６日（土）・２７日（日）午前８時３０分～午後５時１５分については，地域経済課にて相談を受付。

(4) 環境放射能の調査結果

- ・空気中の放射線量の測定

前日午後５時から本日午後５時までの放射線量の測定値は，０．０３７～０．０３８μSv/h であり，異常なし。

- ・定時降下物（ちり，ほこり，雨など）の分析（ヨウ素１３１，セシウム１３７）

前日午前９時から本日午前９時までの降下物 検出されず。

- ・上水（蛇口水）の分析（ヨウ素１３１，セシウム１３７）

前日採取した上水 検出されず。

■県ホームページ

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011031500153/>

2 明日の主な動き

(1) 「第２回徳島県被災地支援対策本部会議」

- ・午前１０時４０分から第２回本部会議開催（知事出席）

３チームから，現在の取組状況についての報告を行い，情報共有を図る。

(2) 人的支援

- ・被災地支援（教育）チーム【第２陣】

午前１０時３０分からの壮行式（知事出席）の後，連絡調整要員（３名）が，宮城県に向け出発。

(3) 物的支援

- ・宮城県への救援物資

午後２時からの出発式（知事出席）の後、県内企業から受け付けた救援物資（飲料物、食品、生活用品 他）の輸送車（２台）が、現地に向け出発。

○ 被災地への救援物資の受付について

平成２３年３月２１日（月）から２３日（水）まで、県民の皆様にご協力をお願いし、救援物資を受け付けたところ、次のとおりご提供いただきました。

・受付件数	９５７件
（内訳）	
・飲料水	５６６箱
・カップ麺	３８３箱
・粉ミルク	６１９缶（箱）
・おむつ（子供用）	１，８５７袋
・おむつ（大人用）	１，３１０袋
・マスク	３１５，４６９枚

ご協力ありがとうございました。

また、今後、県民の皆様から救援物資の提供をお願いする場合は、県ホームページ等により広報させていただきますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

- ・問い合わせ先
県南海地震防災課 電話：０８８-６２１-２２９７ FAX：０８８-６２１-２８４９

○ 経済変動対策資金（東北地方太平洋沖地震対策枠）の創設について

１ 内 容

東北地方太平洋沖地震により直接的な被害を受けたり、取引先の売掛金回収が 困難となったり、生産、販売活動等が一時停止するなど、事業活動に支障が生じている県内中小企業等に対し、県中小企業向け融資制度において、経済変動対策 資金（東北地方太平洋沖地震対策枠）を創設し、資金繰りの円滑化を支援します。

２ 融資対象

- (1) 東北地方太平洋沖地震により直接的な被害を受けた者
- (2) 東北地方太平洋沖地震により被害を受けた企業に対する債権の回収が困難になっている者
- (3) 東北地方太平洋沖地震の影響により臨時的に経費が必要である者

３ 経済変動対策資金（東北地方太平洋沖地震対策枠）の詳細

- ・資金使途：運転資金
- ・融資金額：1企業者 4,000万円以内
- ・融資期間：8年以内（据え置き1年以内）
- ・融資利率：1.75%以内
- ・保証料率：0.30%～0.85%

4 取扱期間等

- ・平成23年3月25日（金）～平成24年3月30日（金）
- ・平成23年3月26日（土）、27日（日）、午前8時30分～午後5時15分については、地域経済課（088-621-2318）にて相談を受付します。

○ 「徳島県被災地支援対策本部会議」の開催について

このことについて、次のとおり開催いたしますので、お知らせします。

記

1 日 時

平成23年3月23日（水） 午前10時00分か

2 場 所

県庁3階 特別会議室

3 出席者

- ・知事(主宰者) 飯泉 嘉門
- ・副知事 里見 光一郎
- ・政策監 武市 修一
- ・各部局長ほか

計22名出席予定

4 議 題

- (1) 東北関東大震災の被災地支援について

○ 県内企業から提供のあった救援物資の輸送について

経済団体等を通じ、県内企業に呼びかけ受け付けた救援物資について、東北地方太平洋沖地震で被害を受けた宮城県へ向け、輸送車が次のとおり出発します。

記

1 日 時

平成23年3月24日（木） 14:00～

2 場 所

沖洲マリンターミナル イベントスペース（駐車場東隣）
（徳島市東沖洲2丁目）

※ 出発に際し、知事出席により出発式を行います。

(参考：経済団体等を通じた救援物資の周知・受付)

○ 期 間 平成23年3月18日(金)～24日(木) 午前

○ 受け付けた救援物資(主なもの)

- ・飲料物(お茶)
- ・食品(カップ麺、米、そうめん等)
- ・毛布
- ・マスク
- ・タオル
- ・衣類
- ・使い捨てカイロ

○ 東北地方太平洋沖地震にかかる教育分野での現地支援活動について

東北地方太平洋沖地震における被災者対策として、教育分野では、現地での組織的な支援を実施するため、3月19日から23日の間、職員3名を宮城県に派遣し、現地での情報収集等に努めてきたところです。

これまでの活動により、「学校避難所の支援が急がれる」ことを確認したことから、交替の連絡調整要員(3人)を派遣するとともに、新たに、学校避難所において「心のケア」等を行うスタッフ(5人)を石巻市等の学校避難所に派遣し、現地の教職員と連携して被災者支援に取り組みことといたしました。

◆ 連絡調整要員

・派遣期間 平成23年3月24日(木)から3月28日(月)

・派遣要員 3名

チームリーダー(児童生徒の受入・総合調整担当)

	特別支援教育課	副課長	梶本	一夫
班 員	体育健康課	指導主事	浜井	俊洋
班 員	体育健康課	指導主事	竹内	理恵

・派遣ルート 海路で東京に移動、東京より陸路で宮城県へ
<3月25日午後～28日午前中活動予定>

・壮行式 平成23年3月24日(木) 10時30分
県庁9階 教育委員会 (知事出席予定)

◆ 現地支援要員

・派遣期間 平成23年3月25日(金)から3月29日(火)

- ・派遣要員 5名

チームリーダー	体育健康課	指導主事	乾 久美子
班 員	堀江南小学校	養護教諭	高橋 厚代
班 員	日和佐小学校	養護教諭	篠原 ナオミ
班 員	板野支援学校	教諭	宮本 宏之
スーパーバイザー	徳島大学講師	臨床心理士	内海 千種

- ・派遣ルート 空路で山形に移動、山形より陸路で宮城県へ
 < 3月26日～28日活動予定 >

- ・壮行式 平成23年3月25日（金） 10時00分
 県庁9階 教育委員室 （知事出席予定）

○ 「被災者受入支援チーム初会合」の開催について

このことについて、次のとおり開催いたしますので、お知らせします。

記

1 日 時

平成23年3月23日（水） 午前10時15分から

2 場 所

県庁3階 特別会議室

3 出席者

- ・知 事 飯泉 嘉門
- ・政策企画総局長、次長
- ・各部副部長 ほか

計16名出席予定

4 議 題

- (1) 今後の取組みについて

※ 初会合は、知事訓辞の後、今後の取組みについて協議をする。

【関西広域連合（鳥取県）】

○ 東北地方太平洋沖地震被災者向け住宅相談受付状況について

東北地方太平洋沖地震で被災された方に対する住宅支援として、本県では県営住宅等の提供を行っており、入居相談を受け付けております。

3月23日15時現在の住宅相談の受付状況は下記のとおりです。

記

被災者向け住宅相談受付状況（3月23日15時現在）

・相談世帯数：22世帯(累計)

(受付概要)

区 分	3月23日(新規)	累 計
① 既に被災地から鳥取県一時避難され、被災者向けの公営住宅への入居について相談されている方	3世帯 13名	7世帯 30名
② 被災地の避難所等に一時避難され、鳥取県内の被災者向けの公営住宅等への入居について相談されている方	1世帯 1名	4世帯 12名 (うち2世帯7名は3月25日に入居予定)
③ 支援制度の問合せ又は支援の対象外となる方	1世帯	11世帯
計	5世帯	22世帯

(参考)

住宅相談窓口 0857-26-7411

(午前8時30分から午後5時15分まで。土日祝日も対応。)

○ 東北地方太平洋沖地震対応のための精神保健福祉研修会（災害時のメンタルヘルス）の開催

このたびの東北地方太平洋沖地震では、被災地の避難所等に避難されている方の健康相談等を行なうため、鳥取県においても既に保健師の派遣を行なっているところです。

今後、長期にわたり被災地への支援を行っていくにあたり、災害時のメンタルヘルス活動についての知識の習得を目的に、下記のとおり研修会を開催します。

記

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 日 時 | 平成23年3月24日（木）午前9時～11時 |
| 2 | 場 所 | 倉吉未来中心セミナールーム3 |
| 3 | 内 容 | (1) 被災地の現地レポート
報告 医療政策課等
(2) 「災害時のメンタルヘルス活動」
講師 鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田 豊 |
| 4 | 対 象 | 県、市町村の保健師、心理職等 |

○ 県民からの救援物資（第3陣）の宮城県への搬送

東北地方太平洋沖地震で被害を受けた宮城県へ県民から提供を受けた救援物資を届けるに当たって、下記のとおり出発式を実施します。

記

- 1 出発式
 - (1) 日時
3月24日（木）午後6時30分から
※支援物資のトラック積み込みを午後6時から中部総合事務所駐車場にて行います。
 - (2) 場所
鳥取県中部総合事務所駐車場（倉吉市東巖城町2）
 - (3) 出席予定者
鳥取県中部総合事務所長、倉吉市長
- 2 搬送する物資（10トントラック1台で輸送）
※第3陣は中部総合事務所及び倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町で受け付けた救援物資を搬送します。
保存食（カップ麺、インスタント麺、乾パン）
水（500ミリリットル・2リットル）
その他飲料（500ミリリットル・2リットル）
生理用品
粉ミルク
紙おむつ
- 3 搬送先
石巻市総合運動公園（宮城県石巻市南境字新小堤18番地）

4 今後の搬送予定

3月25日（金）以降は、当面、宮城県側の受入れ体制が整うまで中断します。

5 その他

（社）鳥取県トラック協会と鳥取県が平成9年1月10日に締結した「緊急・救護輸送に関する協定書」に基づき、同協会からの協力を得て救援物資を搬送します。ドライバーの氏名は次のとおりです。

長谷川 靖（はせがわ やすし）

※この資料は倉吉市政記者クラブにも提供しています。

○ 県内の環境放射線量の状況（3/22～3/23）

このことについて県内2箇所の観測地点の測定値は下記のとおりです。なお、湯梨浜町の測定値は衛生環境研究所のホームページで毎日公開しています。また、三朝町の測定値は環境防災Nネットですでに公開されています。

衛生環境研究所（<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=3565>）

環境防災Nネット（www.bousai.ne.jp/）

1 放射線量の測定値

現在の放射線量は、従来と比べ大きな変動はありません。

地点	測定値（ μ Sv/h）※注 (3/22 10:00から3/23 9:00まで)
湯梨浜町南谷 (衛生環境研究所)	0.062～0.065 最大値観測時間(3/22 14:00他)
三朝町木地山	0.034～0.051 最大値観測時間(3/22 18:00)

注) 実際の測定値自体は「Gy」という単位ですが、以下の参考のとおり「Sv」として記載しています。「 μ 」：マイクロ（1/1000,000の意味）

2 その他参考情報

(1) 放射線の単位について

「Gy（グレイ）」と「Sv（シーベルト）」は次のとおり異なった概念ですが、観測値は近似していますので、そのまま読み替えても支障ありません。

① 吸収線量 [グレイ (Gy)] : 物体が放射線から受けた総エネルギー量

② 等価線量 [シーベルト (Sv)] : 放射線の人体への影響度

$Sv(\text{等価線量}) = Gy(\text{吸収線量}) \times (\text{放射線加重係数})$

・放射線加重係数：放射線の種類で異なる。（1～20の値）

・通常の測定される放射線のほとんどはガンマ線であり、その放射線荷重係数は1

(2) 過去の測定値（通常の状態の放射線量の目安）は次のとおりです。

衛生環境研究所(H19.4からH22.3) 0.036～0.110 μ Gy/h

三朝町木地山 (H19.4からH22.3) 0.013～0.104 μ Gy/h

(3) 放射線量について

環境中の放射線量は気象条件等により増減します。例えば、降水により大気中の放射性物質が降下することにより測定値は上昇します。一方、積雪がある場合には、地表からの放射線が遮られることにより低下します。

○ 東北地方太平洋沖地震に係る救援支援物資の受付及び被災地への搬送状況（第6報）

東北地方太平洋沖地震に係る救援物資について、3月23日正午までの受付状況及び被災地への搬送状況を下記のとおり取りまとめました。

記

1 受付状況

区分	本日分（3月22日正午から 23日正午までの受付分）	これまでの累計
提供者人数	698 人	5,192 人
カップ麺	2,361 個	19,032 個
インスタント麺	744 個	4,574 個
乾パン	68 個	382 個
水500ミリットル	886 本	5,890 本
水2リットル	3,633 本	10,809 本
その他飲料500ミリットル	676 本	6,484 本
その他飲料2リットル	257 本	2,709 本
生理用品（※）	1,369 個	10,638 個
粉ミルク	218 個	1,819 個
紙おむつ幼児用	374 袋	3,949 袋
紙おむつ大人用	904 袋	6,112 袋
毛布	835 枚	5,453 枚

（※）生理用品については、3月22日発表時点の累計数に誤りがありましたので、修正しています。10,651個→9,269個

2 被災地への搬送状況

区分		本日分（3月22日正午から 23日正午までの搬出分）	これまでの累計
被災地への 搬送車両数	東部・八頭	0 台	0 台
	中部	0 台	0 台
	西部	1 台	1 台
	日野	0 台	0 台
	計	1 台	1 台
カップ麺		4,000 個	4,000 個
インスタント麺		0 個	0 個
乾パン		0 個	0 個
水500ミリットル		1,250 本	1,250 本
水2リットル		2,786 本	2,786 本
その他飲料500ミリットル		1,940 本	1,940 本
その他飲料2リットル		410 本	410 本
生理用品		400 個	400 個
粉ミルク		119 個	119 個
紙おむつ幼児用		609 袋	609 袋
紙おむつ大人用		445 袋	445 袋
毛布		0 枚	0 枚

3 差引残数

区分	残数
カップ麺	15,032 個
インスタント麺	4,574 個
乾パン	382 個
水500ミリットル	4,640 本
水2リットル	8,023 本
その他飲料500ミリットル	4,544 本
その他飲料2リットル	2,299 本
生理用品	10,238 個
粉ミルク	1,700 個
紙おむつ幼児用	3,340 袋
紙おむつ大人用	5,667 袋
毛布	5,453 枚

○ 旅館・ホテルの空き部屋を被災者のために無料提供します

公営住宅等の空き住戸を東北地方太平洋沖地震の被災者に提供することとし、入居受付を開始したところですが、県内に到着してから入居準備が整うまでに、数日間かかる場合も想定されます。

ついては、このつなぎ期間の受け入れ先として、鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合のご協力などにより、一部の県内旅館ホテルの空き部屋を無料提供することとなりました。（3月18日資料提供）

このことについて、ホームページに情報を掲載し、県内の公営住宅への入居を呼びかけています

（ホームページアドレス）

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=155036>

※最新の受け入れ旅館・ホテルの状況も掲載しています。

○ 東北地方太平洋沖地震に係る民間救援支援物資の自衛隊による航空機輸送（第1回目）

東北地方太平洋沖地震に係る民間救援物資について、自衛隊による第1回目の航空機輸送を下記のとおり行います。

記

1 輸送する救援物資（民間企業からの大口の物資）

品 目	数 量	提 供 者
水 2ℓペットボトル	6本入箱×663個＝3,978本	J Aグループ鳥取 3 3 3 箱
		江府町地域振興(株) 2 5 0 箱
		江府町御机集落 8 0 箱
大豆水煮210 g	50袋入箱×50個＝2,500袋	株式会社はりまや

2 行程（搬送日時等）

（3月24日）

（1）陸上自衛隊米子駐屯地 発（午後1時） 鳥取県米子市両三柳2603米子市

（2）航空自衛隊美保基地 着（午後2時） 鳥取県境港市小篠津町2258

※ 被災地への民間救援支援物資の輸送日時は現時点では未定ですが、決定次第、美保基地渉外室広報班より情報提供されます。

3 自衛隊への問い合わせ先

航空自衛隊美保基地渉外室広報班（電話0859-45-0211（内線211））及び陸上自衛隊米子駐屯地広報室（電話：0859-20-2161（内線203））へお願いします。

取材される場合は、必ず事前に各自衛隊広報にお尋ね下さい。